

## 府中市行政評価の概要について

### 1 趣旨

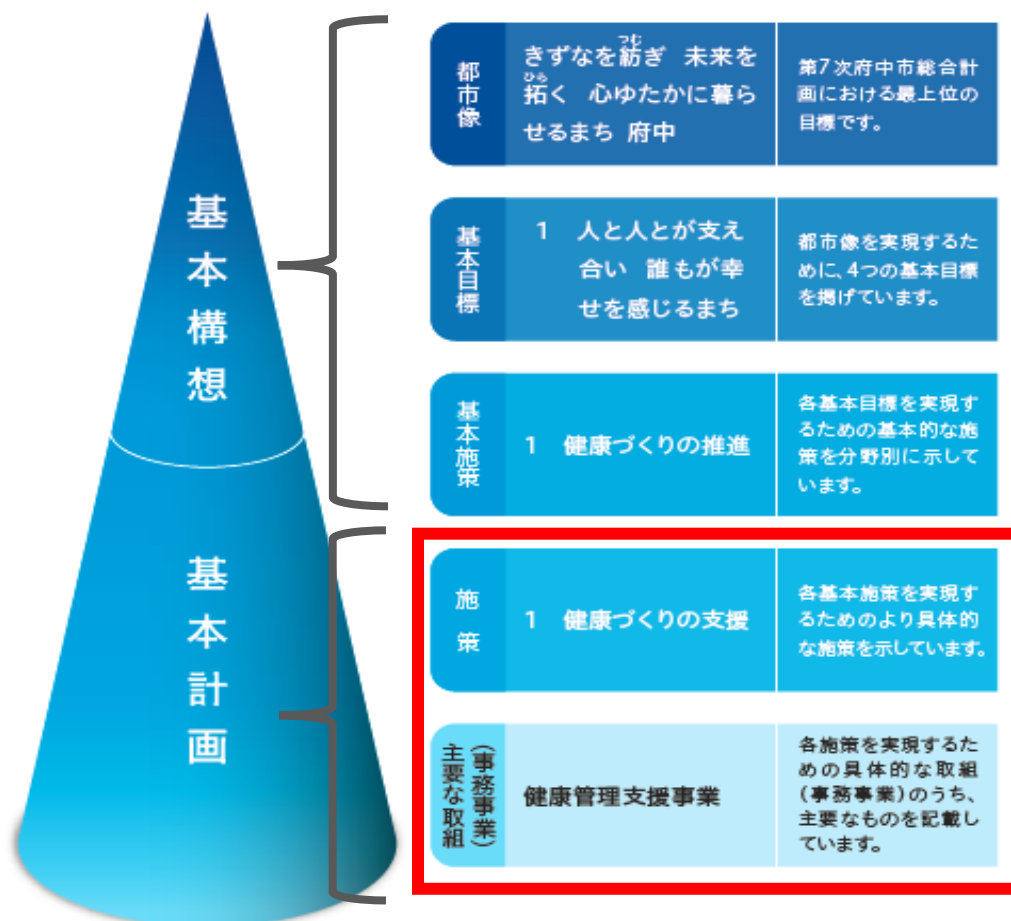
総合計画に掲げられている基本構想・基本計画を実現させるためには、当該計画の着実な進行管理が必要となりますが、府中市では、行政評価システムを活用することにより、PDCA サイクルに基づく効率的かつ効果的な進行管理を行っています。

毎年度、施策や事務事業単位でこの行政評価を実施することにより、進捗状況や課題等を確認し、次の展開における成果向上につなげています。

### 2 概要

#### (1) 施策体系

第7次府中市総合計画では、基本構想及び基本計画の2階層で構成されています。



(2) 評価対象

すべての施策、及び当該施策を実現するための手段であるすべての事務事業を評価対象としています。なお、総合計画には、主要な事務事業しか掲載されていません。

(3) 予算との連動

事務事業の下には対象や実施目的が類似した予算事業（予算書に掲載されている事業）が紐づいており、施策－事務事業－予算事業を体系づけた行政評価の実施により、総合計画と予算書の連動を図り、評価結果を新規・見直し・廃止事業の検討に活用するとともに、次年度予算の編成につなげていきます。

(4) 総コストの明確化

職員のコスト意識の向上を図り、コストを考慮した評価・見直しを行うため、事業費に加え、当該事業にかかる人件費・間接経費を算出することにより、施策及び事務事業にかかる総コストを明確にします。

(5) 外部要因を加味した評価

指標を分析する際には、指標値の変動状況だけではなく、指標値に影響を与える外部要因（社会経済動向、国や都の施策、市民ニーズ等）を加味することにより、多角的な視点を評価手順に組み込んでいます。